

北海道観光入込客数調査報告書

平成14年度版

観光入込客数調査の概要.....	1 頁
------------------	-----

(参考)

来道観光客に関する調査の概要.....	4 頁
---------------------	-----

訪日外国人の来道者数に関する調査の概要

1 訪日外国人の来道者数(実人数)	5 頁
-------------------------	-----

2 訪日外国人の来道宿泊者数(延べ人数)	6 頁
----------------------------	-----

平成15年7月

北海道経済部観光振興課

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 観光入込客数調査について

本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、道内212市町村が調査を行った結果を集計したものです。

2 調査内容

(1) 観光入込客数

ア 観光入込客数【実人数】

道内212市町村の観光入込客数や観光動態調査などにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数とは：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数える。

イ 観光入込客数【延べ人数】

道内212市町村の観光入込客数を集計した観光入込客の延べ人数

延べ人数とは：市町村の実人数の単純合計
〔1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数える。〕

(2) 来道観光客数

平成14年度の交通機関(航空機、フェリー、鉄道)の下り便の輸送実績を基に「来道観光客動態調査」などにより推計した来道観光客の実人数。

(3) 訪日外国人来道者数

平成14年度に、北海道を訪れた外国人について、「宿泊施設調査」や「動態調査」などにより推計した訪日外国人来道者数の実人数。

3 利用上の留意事項

(1) 今回の調査は、平成14年度(H14.4~H15.3)を基に行っており、「春」は4・5月、「夏」は6月~9月、「秋」は10月~11月、「冬」は12月~3月として、取り扱っております。

(2) 市町村ごとの観光入込客数調査は、実人数を推計していますが、「支庁の計」、「圏域の計」は延べ人数となっております。

(3) 平成11年度より全道212市町村が調査を行っております。

(4) 数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

観光入込客数調査の概要

【観光入込客数（実人数）】

道では、道内212市町村が実施している「観光入込客数調査」と道が実施している「観光客動態調査」をもとに観光入込客数の実人数を推計しています。

平成14年度の観光入込客の総数（実人数）は、5,009万人となり、前年度の99.4%となっています。

道外客については、官民一体となつての積極的なプロモーション活動の効果もあって、増加したものと思われませんが、全体としては、景気低迷による個人消費の伸び悩みに加え、夏季の天候不順などのマイナス要因もあって、前年度対比でわずかに減少しています。

これを道外・道内客別にみると、道外客は638万人（構成比12.7%）で前年度の101.8%と増加していますが、道内客は4,370万人（構成比87.2%）で同99.0%と減少しています。

日帰り・宿泊客別にみると、日帰り客は3,498万人（構成比69.8%）で前年度の99.9%、宿泊客は1,510万人（構成比30.1%）で同98.4%といずれも減少となっています。

季節別にみると、夏季が最も多く、全体の51.5%を占め、次いで冬季20.4%、春季15.2%、秋季12.8%の順となっています。前年度対比でみると、春季が104.0%と増加していますが、夏季98.1%、冬季98.8%と減少しています。

<平成14年度観光入込客数（実人数）>

区 分	観光入込客数	構成比	左 の 内 訳	
			日 帰 り 客	宿 泊 客
道 外 客	638万人	12.7%	3万人	635万人
構 成 比	100.0%		0.5%	99.5%
13年度対比	101.8%		100.8%	101.8%
11年度対比	100.6%		99.9%	100.6%
道 内 客	4,370万人	87.2%	3,495万人	875万人
構 成 比	100.0%		80.0%	20.0%
13年度対比	99.0%		99.8%	96.1%
11年度対比	96.9%		97.6%	93.8%
合 計	5,009万人	100.0%	3,498万人	1,510万人
構 成 比	100.0%		69.8%	30.1%
13年度対比	99.4%		99.9%	98.4%
11年度対比	97.3%		97.6%	96.5%

<季節別内訳>

区 分	春	夏	上期計	秋	冬	下期計	合 計
観光入込客数	764万人	2,579万人	3,343万人	641万人	1,024万人	1,665万人	5,009万人
構 成 比	15.2%	51.5%	66.7%	12.8%	20.4%	33.3%	100.0%
13年度対比	104.0%	98.1%	99.4%	100.0%	98.8%	99.3%	99.4%
11年度対比	102.0%	96.1%	97.4%	95.0%	98.5%	97.1%	97.3%

千人以下四捨五入のため、合計が合致しない場合があります。
構成比は人単位で計算しています。

【補 足：観光入込客数（延べ人数）】

1 総 数

平成14年度の観光入込客の総数は、延べ1億4,333万人で、前年度の99.6%（63万人減）となっています。

2 道外・道内客別

道外客は、4,583万人で前年度の101.5%（69万人増）、道内客は、9,750万人で前年度の98.7%（132万人減）となっています。

構成比でみると、道外客が32.0%、道内客が68.0%となっています。

3 日帰り・宿泊客別

日帰り客は、1億1,442万人で前年度の99.6%（46万人減）、宿泊客は、2,892万人で前年度の99.4%（17万人減）となっています。

構成比でみると、日帰り客が79.8%、宿泊客が20.2%となっています。

<平成14年度観光入込客数（延べ人数）>

区 分	観光入込客数	13年度対比	増 減 数	構 成 比	11年度対比
合 計	14,333万人	99.6%	63万人	100.0%	95.9%
道外客	4,583万人	101.5%	69万人	32.0%	95.0%
道内客	9,750万人	98.7%	132万人	68.0%	96.4%
日帰り客	11,442万人	99.6%	46万人	79.8%	95.7%
宿泊客	2,892万人	99.4%	17万人	20.2%	96.9%

四捨五入のため、合計が合致しない場合があります。

4 月別・季節別

月別にみると、8月が最も多く全体の16.3%を占め、次いで7月13.5%、9月11.5%の順となっています。前年度対比でみると、4月が111.1%、次いで9月106.6%、12月103.4%の順となっています。

季節別にみると、夏季が最も多く全体の51.0%を占め、次いで、冬季20.6%、春季15.2%、秋季13.2%の順となっています。前年度対比でみると、春季104.2%、秋季100.4%と増加していますが、夏季98.4%、冬季98.6%と減少しています。

<月別・季節別観光入込客数（延べ人数）> (万人：%)

区 分	春		夏				上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月 別	773	1,413	1,386	1,941	2,335	1,645	9,492
構 成 比	5.4	9.9	9.7	13.5	16.3	11.5	66.2
13年度対比	111.1	100.8	98.4	95.3	95.9	106.6	99.7
11年度対比	116.6	95.9	95.4	90.1	87.9	104.3	94.9
季 節 別	2,185		7,307				9,492
構 成 比	15.2		51.0				66.2
13年度対比	104.2		98.4				99.7
11年度対比	100.9		93.2				94.9

区 分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月 別	1,264	624	624	740	855	735	4,841	14,333
構 成 比	8.8	4.4	4.4	5.2	6.0	5.1	33.8	100.0
13年度対比	102.9	95.6	103.4	95.1	96.3	101.1	99.3	99.6
11年度対比	94.7	93.8	107.8	98.9	96.2	102.3	98.1	95.9
季 節 別	1,888		2,954				4,841	
構 成 比	13.2		20.6				33.8	
13年度対比	100.4		98.6				99.3	
11年度対比	94.4		100.7				98.1	

5 圏域別

圏域別にみると、前年度対比で、道北圏が104.4%、釧路・根室圏が101.1%と増加していますが、他の圏域では減少となっています。

各圏域ごとの状況は、以下のとおりとなっています。

- 【道 央】夏季の天候不順によるイベントや海水浴客の入込減、スキー離れなどにより、減少となっています。
- 【道 北】夏季の天候不順などマイナス要因があるものの、春先の開花時期の入込増、テレビドラマのロケ地人気などにより、増加となっています。
- 【道 南】14年12月の東北新幹線盛岡～八戸間開業に伴う効果によるプラス要因があるものの、桜の開花時期が早まったことや夏季の天候不順などにより、減少となっています。
- 【オホーツク】夏季の天候不順などにより、減少となっています。
- 【釧路・根室】夏季の天候不順などマイナス要因があるものの、SL運行やオホーツク圏の流氷観光と一体となったツアー人気などにより、微増となっています。
- 【十 勝】大規模イベントや各種団体の大会開催などのプラス要因があるものの、夏季の天候不順などにより、減少となっています。

<圏域別観光客入込客数（延べ人数）>

圏 域 別	観光客入込客数	13年度対比	増 減 数	構 成 比	11年度対比
道 央	7,608万人	98.2%	138万人	53.1%	94.1%
道 北	2,298万人	104.4%	97万人	16.0%	103.6%
道 南	1,456万人	98.9%	15万人	10.2%	97.8%
オホーツク	1,130万人	99.1%	10万人	7.9%	94.3%
釧路・根室	1,004万人	101.1%	11万人	7.0%	96.1%
十 勝	838万人	99.1%	8万人	5.8%	92.9%
合 計	14,333万人	99.6%	63万人	100.0%	95.9%

(参考) 来道観光客に関する調査の概要

1 概況

平成14年度の交通機関(航空機・フェリー・鉄道)の下り便の輸送実績をもとに推計した来道観光客数は、638万人で、前年度の101.8%となっています。

季節別にみると、夏季が最も多く全体の54.2%を占め、次いで、冬季21.0%、春季13.2%、秋季11.6%の順となっています。

前年度対比でみると、一年を通じ増加しています。

2 交通機関別の状況

平成14年度の来道観光客数を交通機関別にみると、航空機が534万人(構成比83.7%)と最も多く、次いで、フェリーが61万人(同9.6%)、鉄道が43万人(同6.7%)となっています。

前年度対比でみると、航空機は102.7%と増加していますが、フェリーは95.3%と減少しています。

<平成14年度来道観光客数(交通機関別・季節別)>

区分	合計	構成比	春	夏	秋	冬
合計	638万人	100.0%	84万人	346万人	74万人	134万人
	季節別構成比	100.0%	13.2%	54.2%	11.6%	21.0%
	13年度対比	101.8%	105.5%	100.6%	104.1%	101.4%
	11年度対比	100.5%	97.7%	99.9%	97.4%	106.3%
航空機	534万人	83.7%	67万人	285万人	63万人	119万人
	季節別構成比	100.0%	12.5%	53.4%	11.8%	22.3%
	13年度対比	102.7%	108.7%	101.5%	105.1%	101.8%
	11年度対比	101.9%	98.3%	101.5%	98.4%	107.2%
フェリー	61万人	9.6%	9万人	40万人	5万人	7万人
	季節別構成比	100.0%	14.8%	65.5%	8.2%	11.5%
	13年度対比	95.3%	97.5%	93.9%	99.1%	98.3%
	11年度対比	93.9%	98.4%	89.9%	100.0%	100.0%
鉄道	43万人	6.7%	8万人	21万人	6万人	8万人
	季節別構成比	100.0%	18.6%	48.8%	14.0%	18.6%
	13年度対比	100.0%	90.7%	103.0%	97.8%	99.3%
	11年度対比	95.6%	92.1%	99.1%	75.0%	100.0%

(参考) 訪日外国人来道者数に関する調査の概要

1 訪日外国人来道者数(実人数)

(1) 概況

平成14年度の訪日外国人来道者数は、実人数で27万9,350人で、前年度(23万6,100人)の118.3%と大幅な増加となっています。

(2) 国・地域別

アジア地域からの来道者は、24万2,800人で前年度(20万2,550人)の119.9%と大幅に増加しています。

国・地域別にみると、台湾が13万3,200人(前年度対比111.5%、構成比47.7%)と最も多く、次いで、中国(香港)が5万5,450人(同120.8%、同19.9%)、韓国が4万1,900人(同150.4%、同15.0%)の順となっています。

【台湾】北海道への人気が依然として高いことにより、前年度に比べ増加となっています。

【中国(香港)】13年12月からの定期便の再開や北海道向け旅行商品の多様化などにより、前年度に比べ増加となっています。

【韓国】各シーズンとも順調に増加しています。特に夏季を中心にチャーター便を利用したツアーが多数実施されたことなどにより、前年度に比べ大きな伸びとなっています。

【中国】12年9月の訪日団体観光ビザの一部解禁や北海道向け旅行商品の開発などにより、前年度に比べ増加となっています。

【その他】ワールドカップサッカー大会開催により出場国から観戦客が来道したことにより、増加となっています。

<平成14年度訪日外国人来道者数(実人数)>

(単位:人、%)

区分	アジア							ヨーロッパ		北米		中南米	アフリカ	オセアニア	不明	合計	
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	その他	米国	カナダ						
春季	14年度	900	3,000	18,000	3,800	300	500	26,500	900	650	800	100	50	50	100	600	29,750
	13年度	500	1,750	13,200	3,000	200	500	19,150	600	850	800	100	50	50	150	450	22,200
	11年度	200	1,900	12,700	1,200	100	250	16,350	700	500	900	50	50	50	150	2,300	21,050
(4-5月)	13年度対比	180.0	171.4	136.4	126.7	150.0	100.0	138.4	150.0	76.5	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	133.3	134.0
	11年度対比	450.0	157.9	141.7	316.7	300.0	200.0	162.1	128.6	130.0	88.9	200.0	100.0	100.0	66.7	26.1	141.3
夏季	14年度	1,600	26,000	49,300	22,200	500	2,300	101,900	3,200	7,250	3,700	400	1,550	250	700	3,400	122,350
	13年度	1,300	16,750	41,700	8,100	300	1,600	69,750	2,900	3,250	3,100	400	200	250	650	4,000	84,500
	11年度	800	9,000	48,500	4,400	350	1,050	64,100	2,700	2,700	3,200	500	250	200	1,100	5,600	80,350
(6月-9月)	13年度対比	123.1	155.2	118.2	274.1	166.7	143.8	146.1	110.3	223.1	119.4	100.0	775.0	100.0	107.7	85.0	144.8
	11年度対比	200.0	288.9	101.6	504.5	142.9	219.0	159.0	118.5	268.5	115.6	80.0	620.0	125.0	63.6	60.7	152.3
秋季	14年度	900	4,550	20,800	6,250	300	600	33,400	1,000	1,100	1,050	100	100	100	100	750	37,700
	13年度	700	2,750	17,200	4,000	150	650	25,450	1,400	950	1,050	200	100	50	200	1,400	30,800
	11年度	300	2,900	20,900	1,800	200	450	26,550	1,550	1,400	1,150	150	100	100	150	2,050	33,200
(10-11月)	13年度対比	128.6	165.5	120.9	156.3	200.0	92.3	131.2	71.4	115.8	100.0	50.0	100.0	200.0	50.0	53.6	122.4
	11年度対比	300.0	156.9	99.5	347.2	150.0	133.3	125.8	64.5	78.6	91.3	66.7	100.0	100.0	66.7	36.6	113.6
冬季	14年度	1,800	8,350	45,100	23,200	1,150	1,400	81,000	1,700	1,650	1,950	250	50	50	1,700	1,200	89,550
	13年度	1,400	6,600	47,350	30,800	900	1,150	88,200	1,200	1,750	2,000	250	100	50	1,050	4,000	98,600
	11年度	800	4,000	38,800	13,400	550	1,000	58,550	1,450	2,600	2,100	300	100	50	1,500	2,650	69,300
(12月-3月)	13年度対比	128.6	126.5	95.2	75.3	127.8	121.7	91.8	141.7	94.3	97.5	100.0	50.0	100.0	161.9	30.0	90.8
	11年度対比	225.0	208.8	116.2	173.1	209.1	140.0	138.3	117.2	63.5	92.9	83.3	50.0	100.0	113.3	45.3	129.2
合計	14年度	5,200	41,900	133,200	55,450	2,250	4,800	242,800	6,800	10,650	7,500	850	1,750	450	2,600	5,950	279,350
	13年度	3,900	27,850	119,450	45,900	1,550	3,900	202,550	6,100	6,800	6,950	950	450	400	2,050	9,850	236,100
	11年度	2,100	17,800	120,900	20,800	1,200	2,750	165,550	6,400	7,200	7,350	1,000	500	400	2,900	12,600	203,900
	13年度対比	133.3	150.4	111.5	120.8	145.2	123.1	119.9	111.5	156.6	107.9	89.5	388.9	112.5	126.8	60.4	118.3
11年度対比	247.6	235.4	110.2	266.6	187.5	174.5	146.7	106.3	147.9	102.0	85.0	350.0	112.5	89.7	47.2	137.0	
構成比		1.9	15.0	47.7	19.9	0.8	1.7	86.9	2.4	3.8	2.7	0.3	0.6	0.2	0.9	2.1	100.0

2 訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）

（1）概況

平成14年度の訪日外国人宿泊者数をみると、86万3,050人泊で、前年度の113.2%と増加となっています。

<平成14年度訪日外国人宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人泊、%）

	ア ジ ア							ヨ ー ロ ッ パ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
14年度	15,381	83,348	447,511	193,984	8,139	17,227	765,590	10,140	11,353	2,122	5,205	11,253	40,073
13年度	11,795	50,642	403,192	172,972	5,658	19,213	663,472	11,014	2,824	1,990	3,667	14,564	34,059
13年度対比	130.4	164.6	111.0	112.1	143.8	89.7	115.4	92.1	402.0	106.6	141.9	77.3	117.7
11年度対比	197.6	287.1	113.1	305.5	193.3	145.4	149.5	81.7	270.8	116.8	109.8	80.0	107.7

	北 米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計
	米国	カナダ			豪州	その他		
14年度	27,575	3,264	4,021	1,493	7,884	1,193	11,957	863,050
13年度	24,806	3,283	3,967	5,968	5,274	1,709	19,993	762,531
13年度対比	111.2	99.4	101.4	25.0	149.5	69.8	59.8	113.2
11年度対比	104.7	84.3	149.0	41.0	200.9	104.3	59.7	141.3

（2）月別・季節別

月別にみると、7月が最も多く、全体の15.5%を占め、次いで2月13.7%、8月11.9%の順となっています。前年度対比でみると、4月143.7%、次いで7月143.1%、8月138.1%と大幅に増加していますが、12月92.7%、2月83.1%、3月72.3%と減少しています。

季節別にみると、夏季が最も多く、全体の41.5%を占め、次いで冬季33.6%、秋季14.6%、春季10.3%の順となっています。前年度対比でみると、夏季が136.2%、春季135.2%、秋季118.1%と増加していますが、冬季は88.6%と減少しています。

<月別・季節別訪日外国人宿泊延べ数>

（単位：人泊、%）

区 分	春		夏				上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月 別	39,370	49,869	71,411	133,854	102,711	50,388	447,603
構 成 比	4.6	5.8	8.3	15.5	11.9	5.8	51.9
13年度対比	143.7	129.3	135.4	143.1	138.1	118.5	136.0
11年度対比	170.4	157.0	159.0	161.6	175.6	105.5	155.0
季 節 別	89,239		358,364				447,603
構 成 比	10.3		41.5				51.9
13年度対比	135.2		136.2				136.0
11年度対比	162.7		153.2				155.0

区 分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月 別	78,917	46,822	76,387	66,171	118,097	29,053	415,447	863,050
構 成 比	9.1	5.4	8.9	7.7	13.7	3.4	48.1	100.0
13年度対比	125.9	106.8	92.7	106.4	83.1	72.3	95.9	113.2
11年度対比	99.6	140.6	153.4	220.5	109.7	132.6	129.1	141.3
季 節 別	125,739		289,708				415,447	-
構 成 比	14.6		33.6				48.1	-
13年度対比	118.1		88.6				95.9	-
11年度対比	111.7		138.4				129.1	-

(3) 圏域別

圏域別にみると、十勝圏を除くすべての圏域で前年度に比べ増加しており、前年度対比で道北圏が127.8%、釧路・根室圏が124.3%と大幅な増加となっています。

< 圏域別訪日外国人宿泊延べ数 >

(単位:人泊、%)

	ア ジ ア							ヨ ー ロ ッ パ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
道南	890	1,454	32,590	25,668	1,105	957	62,664	873	1,049	90	190	444	2,646
道央	12,027	69,804	227,420	131,167	4,172	14,150	458,740	2,460	9,443	1,765	3,429	8,367	25,464
道北	953	4,812	77,134	18,435	1,232	565	103,131	2,949	233	78	563	1,083	4,906
オホーツク	340	799	23,444	7,646	121	86	32,436	455	89	68	137	226	975
十勝	579	4,957	44,298	8,480	19	639	58,972	265	154	67	419	442	1,347
釧路・根室	592	1,522	42,625	2,588	1,490	830	49,647	3,138	385	54	467	691	4,735
合計	15,381	83,348	447,511	193,984	8,139	17,227	765,590	10,140	11,353	2,122	5,205	11,253	40,073

	北 米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計	13年度対	13年度	11年度対	11年度比
	米国	カナダ			豪州	その他						
	道南	2,059	183	331	222	234	38	444	68,821	110.9	62,065	291.2
道央	19,678	2,391	3,122	588	6,464	611	8,881	525,939	111.9	470,122	136.4	
道北	2,258	377	185	77	487	102	115	111,638	127.8	87,365	150.8	
オホーツク	1,009	40	55	9	204	201	621	35,550	114.7	30,995	132.2	
十勝	632	101	254	592	280	219	900	63,297	96.7	65,481	130.4	
釧路・根室	1,939	172	74	5	215	22	996	57,805	124.3	46,503	110.9	
合計	27,575	3,264	4,021	1,493	7,884	1,193	11,957	863,050	113.2	762,531	141.3	

(4) 市町村別

市町村別にみると、札幌市が23万2,072人泊(前年度対比95.9%)で最も多く、次いで、登別市7万4,713人泊(同114.6%)、以下虻田町5万2,563人泊(同157.9%)、上川町5万1,929人泊(同123.7%)、壮瞥町4万9,452人泊(同130.3%)の順となっています。

全体として、温泉地を抱える市町村が上位となっているほか、札幌市は、北海道を代表する都市であり、各地との交通アクセスが良いことから各国とも上位となっていると思われます。

【宿泊延べ数の多い上位5ヶ国】

(単位:人泊、%)

順位	国名	宿泊延べ数	13年度対比
1	台湾	447,511	111.0
2	中国(香港)	193,984	112.1
3	韓国	83,348	164.6
4	アメリカ	27,575	111.2
5	中国	15,381	130.4

【訪日外国人宿泊延べ数の多い市町村】

(単位:人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	13年度対比
1	札幌市	232,072	95.9
2	登別市	74,713	114.6
3	虻田町	52,563	157.9
4	上川町	51,929	123.7
5	壮瞥町	49,452	130.3

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

(単位:人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	13年度対比
1	札幌市	92,863	90.8
2	上川町	42,978	116.7
3	阿寒町	33,180	107.6
4	登別市	32,892	98.3
5	壮瞥町	31,338	112.3

【アメリカの宿泊延べ数の多い市町村】

(単位:人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	13年度対比
1	札幌市	12,342	90.9
2	千歳市	2,572	212.0
3	函館市	1,779	103.7
4	釧路市	1,203	276.6
5	苫小牧市	1,057	113.5

【中国(香港)の宿泊延べ数の多い市町村】

(単位:人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	13年度対比
1	札幌市	65,259	86.5
2	虻田町	19,181	134.8
3	登別市	16,630	86.3
4	鹿部町	15,682	117.0
5	壮瞥町	8,348	264.3

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

(単位:人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	13年度対比
1	登別市	20,976	231.3
2	札幌市	20,245	152.1
3	留寿都村	9,615	130.0
4	壮瞥町	8,627	132.9
5	虻田町	4,155	1,180.4

【ロシアの宿泊延べ数の多い市町村】

(単位:人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	13年度対比
1	釧路市	1,762	106.1
2	札幌市	1,634	64.3
3	旭川市	1,444	129.3
4	稚内市	1,280	85.4
5	根室市	1,069	104.6

北海道観光入込客数調査報告書 平成14年度版

平成15年7月

北海道経済部観光振興課

札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111 内線26-562、26-565

FAX 011-232-4120
